

# GIGA スクール通信

G I G A…Global and Innovation Gateway for All



今号担当：教育課程担当課

## ○中央小学校（モデル校）での端末の活用を紹介します

【題材名】 第5学年国語「方言と共通語」

【内容】 方言と共通語のよさや使い分けを考える。

【使用アプリ】 Jamboard（札幌市ではG Suite for Educationの提供があるため無償利用が可能）

【アプリの特徴】 子どもが画面内の仮想ホワイトボードを共有し、文字を貼ったり、移動したりできる。これまで、黒板や画用紙にカードや付箋を貼って共有していた活動を、自席に座ったまま、一人一人の端末の画面上で瞬時に行うことが可能。

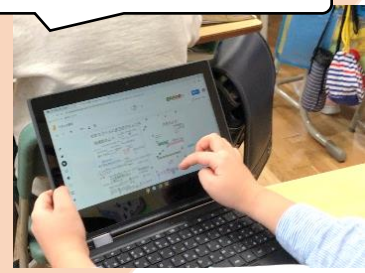
地域のよさ。



方言のよさって何だろう。



独特の言葉でおもしろい。

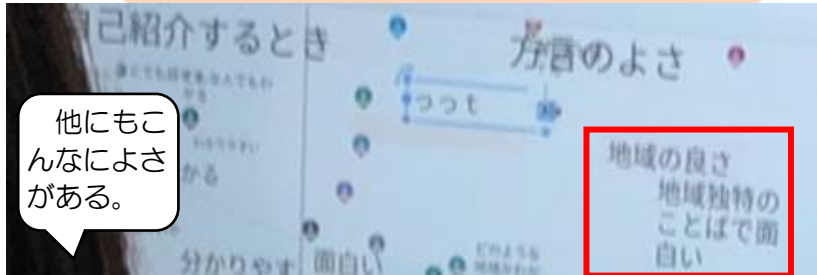


【手書きで入力する子ども】 【キーボードで入力する子ども】 【指で操作する子ども】

【特徴】

全員の  
入力内容  
が、瞬時  
に表示さ  
れる。

他にもこ  
んなによさ  
がある。



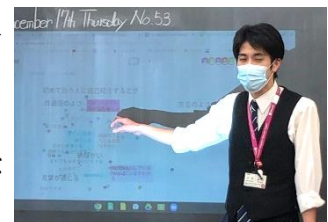
【効果】

「カードに  
書く」「画用  
紙に貼る」  
「互いに見合  
う」等の時間  
短縮が可能。

【入力した内容が画面に表示され、全員の考えを瞬時に共有】

これまでの「カードに書き、前に出てきて、黒板や画用紙に貼る」という活動時間の短縮が図られ、画面に表示される他の考えを取り入れながら、思考をめぐらせる時間の確保ができました。

時間をかけて情報を分類したり、関連付けたりするような学びが可能となり、課題探究的な学習が、より一層充実することで、子どもの「学ぶ力」の高まりが期待できます。



【黒板に投影して分析】



【学習の振り返りをグラフ化】

子どもは、操作に困ることなく授業に臨んでいました。机上には、端末と教科書、ノートが置かれ、適時、教科書での確認、ノートへの記入、端末を用いた思考が行われ、子どもが必要に応じて使い分ける等、新しい学習環境への適応力の高さが見られました。